



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 福留八ム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務経理部長 (氏名) 加藤 博美

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,496	3.4	55	0.2	76	21.0	129	159.5
29年3月期第1四半期	6,725	4.7	55	61.6	96	43.2	50	55.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 403百万円 (%) 29年3月期第1四半期 60百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.78	
29年3月期第1四半期	3.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,726	6,606	37.3
29年3月期	17,064	6,252	36.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,605百万円 29年3月期 6,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,800	2.1	210	2.5	220	8.2	160	7.5	9.41
通期	27,600	3.4	400	12.0	420	5.4	300	1.0	88.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期(予想)の1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	17,000,000 株	29年3月期	17,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	312,675 株	29年3月期	312,675 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	16,687,325 株	29年3月期1Q	16,690,843 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月24日開催の第66回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末配当 3円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 17円65銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移したものの、引き続き個人消費が伸び悩み、中国を中心としたアジア経済新興国等の景気の減速や、米国の政策動向、さらには欧州の政治情勢の懸念等、海外経済の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の低価格・節約志向が根強く残るなか、一部供給原料の値上がりに伴う製造コスト等の上昇や人手不足等による労働コスト・物流費の上昇、さらには国内食肉相場の高騰もあり、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年に向けて経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、グループ全社を挙げて作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。

販売に関しましては、「花ソーセージ」シリーズのテレビCM放映や福留ハムの今を伝える情報誌”ザ・プレミアムブック”の5号を発刊し、販売促進に繋げるとともに、新商品BBQシリーズの「BBQパストラミハムステーキ」や「BBQポークハムステーキ」等を発売し、商品の充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、64億96百万円(前年同四半期比3.4%減)となりました。利益につきましては、営業利益は55百万円(前年同四半期比0.2%減)、経常利益は76百万円(前年同四半期比21.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、広島市の社宅跡地売却にともない固定資産売却益を計上したことなどにより、1億29百万円(前年同四半期比159.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、企業間競争の激化により売上高、販売量ともに減少いたしました。積極的な販促活動により高価格帯の「ロースト」シリーズや業務用商品等が、好調に推移し、セグメント利益に貢献いたしました。

その結果、売上高は28億62百万円(前年同四半期比4.0%減)、セグメント利益(営業利益)は1億47百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉において、引き続き相場の高騰等により消費の縮小が進み、販売頭数の減少や企業間競争の激化等により、売上高、販売量ともに減少いたしました。国産豚肉においては、国産牛肉の代替需要により、売上高、販売量ともに増加いたしました。輸入ミートにおいては、輸入牛肉の競争激化により苦戦したものの、輸入豚肉が好調に推移し、売上高、販売量ともに増加いたしました。

その結果、売上高は36億33百万円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益(営業利益)は45百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億61百万円増加の177億26百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加の78億97百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金67百万円、商品及び製品95百万円及び原材料及び貯蔵品44百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円増加の98億28百万円となりました。主な要因は、有形固定資産のその他1億33百万円、投資有価証券3億85百万円の増加及び繰延税金資産1億16百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加の111億19百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億86百万円増加の79億39百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金2億46百万円、その他流動負債2億17百万円の増加及び賞与引当金94百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少の31億80百万円となりました。主な要因は、長期借入金70百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加の66億6百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億68百万円及び利益剰余金79百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,720	3,715
受取手形及び売掛金	2,583	2,651
商品及び製品	943	1,038
仕掛品	50	61
原材料及び貯蔵品	248	293
繰延税金資産	79	111
その他	31	36
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	7,645	7,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,836	1,848
機械装置及び運搬具(純額)	452	473
土地	3,591	3,583
リース資産(純額)	255	247
その他	166	299
有形固定資産合計	6,302	6,452
無形固定資産	78	72
投資その他の資産		
投資有価証券	2,452	2,837
繰延税金資産	352	236
その他	394	390
貸倒引当金	△160	△160
投資その他の資産合計	3,037	3,304
固定資産合計	9,419	9,828
資産合計	17,064	17,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,205	2,451
短期借入金	4,402	4,380
未払法人税等	73	111
賞与引当金	192	97
その他	680	898
流動負債合計	7,553	7,939
固定負債		
長期借入金	705	635
役員退職慰労引当金	294	296
退職給付に係る負債	2,052	2,038
その他	206	210
固定負債合計	3,258	3,180
負債合計	10,812	11,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	1,368	1,448
自己株式	△79	△79
株主資本合計	5,484	5,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892	1,161
退職給付に係る調整累計額	△125	△119
その他の包括利益累計額合計	767	1,042
非支配株主持分	0	0
純資産合計	6,252	6,606
負債純資産合計	17,064	17,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,725	6,496
売上原価	5,458	5,273
売上総利益	1,266	1,222
販売費及び一般管理費	1,211	1,167
営業利益	55	55
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	19
不動産賃貸料	14	13
その他	28	10
営業外収益合計	61	43
営業外費用		
支払利息	19	16
不動産賃貸費用	—	5
その他	0	0
営業外費用合計	19	22
経常利益	96	76
特別利益		
固定資産売却益	—	120
特別利益合計	—	120
特別損失		
有形固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	23	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益	73	196
法人税、住民税及び事業税	56	97
法人税等調整額	△33	△30
法人税等合計	22	66
四半期純利益	50	129
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	50	129

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	50	129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	268
退職給付に係る調整額	6	5
その他の包括利益合計	△111	274
四半期包括利益	△60	403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61	403
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,983	3,741	6,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,983	3,741	6,725
セグメント利益	145	42	188

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	188
全社費用(注)	△133
四半期連結損益計算書の営業利益	55

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,862	3,633	6,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,862	3,633	6,496
セグメント利益	147	45	193

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	193
全社費用(注)	△138
四半期連結損益計算書の営業利益	55

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。